

# 北海道の印刷

# 2

第837号

2026年2月10日発行

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

北海道の難読地名

安足間

難読レベル

★★★★☆



石北本線を行くラッセル車『安足間駅』（上川郡愛別町愛山）

## CONTENTS

- 3・4 令和7年度第5回理事会開催される
- 5~7 北海道印刷関連業協議会 令和8年新年交礼会開催される
- 8 令和7年度下期北海道地区印刷協議会のご案内
- 9 令和8年新春経営者研修会開催される
- 9 次期理事長推薦委員会開催される
- 10 page2026のご案内
- 10 業界のうごき



## 北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル

TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <https://www.print.or.jp> [E-mail] [info@print.or.jp](mailto:info@print.or.jp)



この印刷物は、CSRに取り組む印刷会社が製作した印刷物です。

# 支部別理事・監事の選出基準などを決定

令和7年度第5回理事会開催される

令和7年度第5回理事会が、1月7日午後1時15分から、札幌市中央区の札幌グランドホテルで、理事11人と監事1人が出席して開催され、令和7年度第4四半期事業スケジュール、下期北海道地区印刷協議会の運営方法、支部別理事・監事の選出基準などを決定した。

**理** 事は、定数報告の後、岸理事長を議長に議事が行われた。

最初に、報告事項として、

- (1)事業実施状況について、第4回理事会以降の事業実施状況・活動状況の説明が行われた。
- (2)財務状況について、第3四半期（12月末）の貸借対照表、損益計算書、予算対比表、賦課金納入状況について説明が行われた。
- (3)令和8年度賦課金決定のための売上高報告調査の実施について、1月20日に調査票を送付し、2月5日を報告期限として調査を行うことが説明され、調査票提出への協力要請が行われた。
- (4)令和7年度表彰受賞者について、北海道産業貢献賞1人、全国中小企業団体中央会会長表彰1人、一般社団法人日本印刷産業連合会印刷振興賞1人、全日本印刷工業組合連合会会長特別表彰3人が、それぞれ受賞したことの説明が行われた。

次に、議事に移り、

- (1)令和7年度第4四半期事業スケジュールについて、組織の拡大、未来を創る業界運動の展開、共済事業への加入促進、福利厚生事業の実施、組織・財政状況の検討、第34回北海道情報・印刷文化典札幌/小樽大会の開催準備を柱とした、それぞれの実施事業の内容・スケジュール等が説明され、決定された。



- (2)令和7年度下期北海道地区印刷協議会の開催について、下記により開催することが決定された。

日時 令和8年2月27日(金)

13:00～13:50 第6回理事会

14:00～15:00 全体会議

15:10～16:10 分科会（委員会）

16:15～17:00 総括会議

17:10～18:40 情報交流会（懇親会）

会場 札幌パークホテル

- (3)第34回北海道情報・印刷文化典札幌/小樽大会負担金額について、本年8月21日に小樽市で開催される第34回北海道情報・印刷文化典札幌/小樽大会の負担金額は、北海道情報・印刷文化典確認事項に基づき、組合員1社12,000円で、令和8年2月28日の組合員数が78社で936,000円となることが説明され、承認された。
- (4)令和8年度理事・監事数及び選出基準について、令和8年度は役員改選期に当たることから、定款規定に基づく理事・監事数を各支部組合員数による按分数が説明され、決定された。令和8年度は、理事15人（定款規定13人以上17人以内）、監事2人（同2人または3人）となる。

また、副理事長の推薦方法を、これまでの2人を支部長、1人を理事長推薦とする方法から、同方法制定の平成26年の支部数が9支部から現在は7支部となっていることから副理事長3人のうち1人を支部長、2人を理事長推薦とすることに変更するこ

とが提案され、決定された。

(5)新規加入組合員の承認について、株式会社カワサキ特殊印刷（札幌支部）を令和7年11月1日付  
けで加入を承認した。

(6)新共済事業「プリントリバースα」について、下記

の概要を検討したところ、4月の理事会で保険会社  
代理店担当者から、さらに詳しい制度内容と保険金  
支払状況等の説明を受けることとした。この理事  
会での説明会には組合員も参加できることとした。

### プリントリバースαの概要

プリントリバースαは、2020年に千葉県工組の発案で開発された保険制度である。最初は、関東のみ扱いであったが、現在は、全国13工組で取り組んでいる。北海道工組としても取り組みの誘いを受けたので、検討いただきたく提案する。

### 制度のポイント

組合員のみしか加入ができない制度。

### 制度の内容

納品後に発覚した印刷ミスが補償される。

— 印字ミス・文字抜け・色違い等の印刷ミスが発生した時

- 発注者から請求された納品遅延損害等に伴う損害賠償金
- 自社で再作成する際に必要となる印刷・製本加工代等の費用（材料費を含む）
- 不良品選定のための検品費用

などの賠償請求費用が補償される。

保 険 コ ー ス	①基本コース「自社調達資材」による事故の補償：一般的な印刷会社が該当 ②総合コース「基本コースの補償」+「発注者から支給された資材」の賠償を補償 ：製本会社・ラミネート会社等が該当
保 険 プ ラ ン (1事故・保険期間中)	補償額によって、ワイドプラン（1,000万）・スタンダードプラン（500万）・ スリムプラン（100万）の3コースを用意している
保 険 料	売上額によって算定する。 総合コースは、基本コース保険料+オプション保険料の合算額
受 保 険 会 社	三井住友海上火災保険株式会社
取 扱 代 理 店	有限会社保険ネットワークセンター 担当：統括部長 伊藤友則

# 新たな価値創出・事業領域拡大 協創で暮らしと文化を支える産業として さらなる発展を期す

北海道印刷関連業協議会令和8年新年交礼会開催される

北海道印刷関連業協議会は、令和8年新年交礼会を、1月7日午後5時から札幌市中央区の札幌グランドホテルで、来賓・印刷・関連業者155人が出席し、賀詞交換を行った。



岸 昌洋 氏

**最**初に、岸昌洋北海道印刷関連業協議会会長（北海道印刷工業組合理事長）が、多数の来賓と参加者に謝意を表し、「昨年は、日本株式市場が、34年ぶりにバブル期の壁を突破した歴史的な年となった。しかし、円安は依然として止まらず、印刷業界を取り巻く環境は、エネルギー・原材料価格の高騰、構造的な人手不足、賃上げに伴う人件費の増加、価格転嫁対策、デジタル・脱炭素への取り組みなどの、迅速な対応が迫られ、依然として厳しい状況にある。また、12月には青森県東方沖を震源とする大きな地震が発生した。被災された皆さんに、心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復旧・復興を祈る。この地震により初めて北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表された。改めてBCP経営を意識しなければならない。こうした社会・経済状況を意識しながら、本年も当協議会の繁栄と持続的な発展のため、情報提供を中心に各種事業を積極的に展開していく。北海道内唯一の印刷・情報技術発信の場として定着している「HOPE2026」を開催し、出展者と来場者がコミュニケーションを図り、各社が新たな価値を見出し、新しいかたちのビジネスを展開し、発展し続けるための機会を提供していく。印刷産業は、これまでも人々の生活・文化の向上・発展に貢献しており、現在も欠かせない産業となっている。技術の進歩により情報メディアは紙媒体から移行する過程にあるが、印刷の果たす使命・本質は今後も変わらない。

活版からオフセット、アナログからデジタル、インターネット、今は生成AIと取り巻く環境は、常に大きく変化してきたが、そのたびに先人の方々が課題を乗り越え今を迎えている。新たな価値創出・事業領域拡大に向けた協創を果たし、暮らしと文化を支える産業としてさらなる発展を期していこう。本年は午年。午年は『勢い』、『前進』、『情熱』を象徴する年で、挑戦や飛躍に適した時期とされている。あやかり大きく成長する1年となることを願い、関係諸官庁・各機関・団体をはじめ関連業界ならびに組合員・賛助会員の



皆さんの一層の理解、支援をお願い申し上げ、新しい年が多くの皆さんにとって、より良い実り多い年となることを祈念する」と、主催者を代表して、新年のあいさつを述べた。

つづいて、来賓紹介が行われ、代表して4人から祝辞が述べられた。

祝辞に先立ち、司会より自由民主党中小印刷産業振興議員連盟について、「自由民主党中小印刷産業振興議員連盟は、全日本印刷工業組合連合会を中心とした全日本印刷産業政治連盟の働きかけにより平成25年12月に発足され、以来、印刷業界が抱える課題について緊密な意見交換を行いながら、印刷用紙の一斉値上げの問題、グリーン購入法に適合する印刷用紙の供給不足への対応、印刷物の契約に係る知的財産権の適切な保護、特定技能制度による外国人材の活用、直近では全国の自治体への官公需印刷物の最低制限価格制度の推進などに取り組んでいる」と紹介が行われた。



船橋利実 氏

船橋利実自由民主党中小印刷産業議員連盟幹事・参議院議員が、「令和8年皆様方におかれては健やかに輝かしい新春を迎えたことと心から喜びを申し上げます。また、今ほど私の活動の一端について紹介をいただいたが、いつも印刷産業に関わる皆様方の困り事あるいはこれからこうやっていきたい。そういう話について、岸会長から指導をいただき、その手伝いをさせていただいている立場である。岸会長の話の中にもあったが、確かに時代はア

ナログからデジタルに変わっていった。そして政府も、特にAIなどの分野に力を入れていこうとしている。これは一つの時代の流れであると思う。AIによって人が今までやっていたことを置き換えることはできるが、AIが人をを超えることはないと思う。そして同様に文字がデジタルになっていっても、それは紙を超えるものではないと私自身は考えている。しかしながら、世の中の流れのなかで印刷業をめぐる環境もどんどん変わってくるということも事実である。我々道民あるいは国民が日常の暮らし、経済活動、そして日本の文字の文化、表現の文化、こうしたものを守っていただいている皆様方が、全道各地それぞれの立場のなかでこれからも印刷産業に関わりを持っていただいて、未来を見て、そしてこれからも自信を持って今の仕事を続けただけのように我々も政治の場から最大限バックアップをしていくことを改めて皆様方に誓う。我々仲間の国会議員あるいは地方議員の皆さん方ともしっかりと連携を図った中で、各市町村、北海道全体、国に対して皆様方の要望を伝え、その実現に向けて努力することも約束をさせていただきたい。本日出席の皆様方、一人一人が今年1年間、まずは健康第一。健康に留意いただいた中で今年掲げている目標に向け邁進をされること、そしてそのことが皆さんの業界、本協議会のさらなる発展につながっていくよう祈念する」と述べた。



酒井哲也 氏

浦田秀行経済産業省北海道経済産業局長の代理として出席した、酒井哲也地域経済部次長は、「北海道印刷関連業協議会の令和8年新年交礼会が、多数の皆さんの出席の下、盛大に開催されることを心から喜び申し上げます。昨年は名目GDPが600兆円の台を超えたほか、賃上げや設備投資が約30年ぶりの高水準となるなど、日本にとって明るい兆しが現れた年になったと思う。北海道においても次世代半導体製造工場やデータセンター、再生可能エネルギー関連のインフラ整備が進むなど、日本の将来を左右するような大型プロジェクトが進展し、地域経済にとって新たな可能性が広がった1年となったと感じている。印刷業界におかれては、デジタル、AI技術の急速な進展により情報の多様化、印刷需要の構造変化が進んでおり、さまざまな環境変化に直面をされている。一方で皆さんは常に地域に根差し、ほぼ全ての産業と接点を持っている。そういう強みを持っている。毎年秋には印刷業の未来に向けた情報発信・学びの場としてHOPE展を開催されるなどを業界一丸となった活動も展開されている。本年はそうした取り組みが大きく実を結び、業界内における連携、協業や異業者とのコラボレーションが大きく進展すること、またそれにより私どもの生活をより彩

り豊かなものにしていただくとを心から期待している。昨年10月には高市新政権が誕生し、先月には総合経済対策として、21.3兆円規模の補正予算を閣議決定された。政府としては、まず経済対策に全力を上げるとともに生産性の向上や取引の適正化で、賃上げが可能となる環境整備に全力を上げて取り組んでいく。皆さんにおかれては、各種の支援政策を活用いただくことで、経営課題の解決また未来に向けた新たな取り組みを進めていただければ幸いである。北海道印刷関連業協議会の皆さんの多幸と今後ますますの健勝、活躍を祈念申し上げます」と述べた。



水口伸生 氏

鈴木直道北海道知事の代理として出席した、水口伸生経済部長は、「北海道印刷関連業協議会令和8年新年交礼会が、多くの皆さんが参加のもと盛大に開催されることを心より喜び申し上げます。昨年を振り返ると、資材価格高騰などにより事業者の方々が厳しい経営状況がつづいており、道としても国の交付金などを活用しながら累次の経済対策を推進してきた。12月には新たな対策の第1弾として国が低圧と高圧の電力支援を行っているが、その対象とならない特別高圧を利用する中小企業者の方々向けの支援を実施するほか、エルピーガスを利用している方々への値下げの支援を行った。引き続き必要な経済対策についても検討し、速やかな実施に努めていく。先月、鈴木北海道知事は、泊発電所3号機の再稼働について同意を表明した。電力需要が今後増加する中で安定した電力供給を確保していく。また脱炭素電力を確保していく。そうしたことが今後の道内経済の成長や温室効果ガス削減につながる。印刷関連業の方々も電気を多く利用されると思う。まだ再稼働は先であるが、将来、電気料金を引き下げることができるということで、将来の投資の予見性も高めることができるのではないか。安全が何よりも大事であることも含め、総合的に知事が判断した。こうした点についても理解を賜ればと思っている。高市内閣が発足して、経済やエネルギー、食料の安全保障に対して戦略的に投資を促進していくという方針が示されており、こうした分野は北海道が我が国をリードする分野であると認識している。こうした追い風をしっかりと掴み、北海道経済の底上げをし、さらなる発展につなげていきたい。印刷業の皆さんは、日々の技術革新を通じてさまざまな産業の事業活動を支えるだけでなく、文化の継承や地域における情報発信の推進役として大きな役割を担う産業と認識している。長年培われてきた技術を活かし、今後も北海道経済の発展に貢献をいただくことを心から期待する。新しい年が皆さんにとって希望に満ちた年となり、印刷業界のさらなる発展ならびに参集の皆さんの益々の活躍、健勝

を祈念する」と述べた。



坂井智則 氏

秋元克広札幌市長の代理として出席した、坂井智則経済観光局長は、「北海道印刷関連業協議会令和8年新年交礼会が盛会に開催されたことを心より喜び申し上げる。印刷業を取り巻く環境は、長引く物価高騰、デジタル化の進展、人手不足など、さまざまな課題が渦巻いている。なかなか大変な課題だと思うし、特に北海道に関しては、運輸に関しても2024年問題でなかなか運送トラックなどの物流コストの増大なども地域特有の課題だと思っている。札幌市としても札幌市内の企業の皆さんに対してはさまざまな支援策を来年度2026年度予算でも盛り込んでいる。これから市議会で審議いただき、しっかりと予算措置をして参りたい。また、今、デジタル化、AIということが出ているが、札幌市も官民連携でAIの推進を行っている。市民の皆さんにニーズに合わせた情報をいかに適確に早く届けるかということが大きな課題になっている。その中で、皆さんは伝え方ということについては、培った技術力や経験を活かしていただいてAIの生み出す情報を目に見えるかたちで、我々とともに市民の皆さんに届ける努力を一緒に行っていたいただければと考えている。言うまでもなく印刷業は本市の経済の重要な基幹産業であり、情報の信頼性を支え、地域文化や経済を繋ぐ社会のインフラである。私どもも皆さんといろいろな意見交換させていただきながら、しっかりと事業を作っていききたい。2026年は午年である。まさに馬のようにあらゆる物事がうまくいく1年になればと考えている。北海道の広大な大地を馬が駆け抜けるように皆さんのビジネスが、さまざまな障害を跳ね除け軽快に走り出す1年にできればと考えている。我々も皆さんの素晴らしい馬力支援をできるよう馬車馬のように働いていきたいと思うので、是非とも支援をよろしくお願いする。北海道印刷関連業協議会の皆さんの益々の発展と本日参集の皆さんの健康と多幸を祈念申し上げます」と述べた。

次に、乾杯に移り、高橋秀樹北海道中小企業団体中央会会長の代理として出席した、松浦豊専務理事は、「北海道印刷関連業協議会令和8年新年交礼会の盛会を心からの喜びを申し上げます。昨年、憲政史上初の女性首相が誕生して、非常に支持率が高いようである。というわけで、もう既に解散総選挙ということがささやかれている。後はタイミングの問題というような噂もある。印刷業界においては、選挙というのは古くから選挙特需と呼ばれてい



松浦 豊 氏

るような大きな経済インパクトを与えるイベントと伺っている。これは紙媒体がたくさん使われるということが大きな理由だと思うが、先程来、挨拶にもあったようにデジタル化の進展、選挙においてもSNSの活用といったことで、そうした要素も少し変わってきているのかと思う。今年は午年で、午年にまつわる話については、先ほどから縷々話があった。午という言葉に関して、『人間万事塞翁が馬』という諺があるように、結局は1年どうなるのかよく分からない、何が起るのか分からない。この1週間でも既に世界中でいろいろなことが起こっている。そうしたなか、馬車馬という話があったが、私たちはやっぱり働いて、働いて、働いて、働いて、働き続けるしかないのだと思っている。本日参加の皆さんの健勝と商売の隆盛を祈念して、乾杯をしたいと思いますので、唱和をお願いする」と述べ、声高らかに乾杯が行われ、新年の宴の幕が開いた。



つづいて、高橋はるみ自由民主党中小印刷産産業振興議員連盟幹事・参議院議員、武部新同・衆議院議員からのメッセージが披露された後、各方面から寄せられた多数の祝電が披露され、賀詞交換と歓談が行われた。



石田雅巳 氏

石田雅巳北海道印刷関連業協議会副会長（北海道製本工業組合理事長）が登壇し、「宴もたけなわであるが、中締めめの指名をいただいたので、挨拶をさせていただく。本日は皆さんどうもお疲れ様でした。今日久々というか、年に1回の新年交礼会に出席させていただき、皆さんの元気な顔を拝見することができて本当に幸せに思う。今年は午年、やはり情熱を持って仕事に取り組んで、総理大臣が働いてを5回繰り返していたが、やはり馬車馬の如く適度に皆さん働いて、ここに参集の方々は関連業であるので、皆で一致団結して協力して課題、問題、困難を皆で解決していく、そういう躍動の1年にしていきたいと思っている。皆さん一致団結して頑張っていきたい。本日、出席の皆さんの健勝および各企業様のますます繁栄を祈念して、一本で閉めたいと思う。唱和をお願いする」と述べ、一丁締めで、令和8年新年交礼会を閉会した。

今日久々というか、年に1回の新年交礼会に出席させていただき、皆さんの元気な顔を拝見することができて本当に幸せに思う。今年は午年、やはり情熱を持って仕事に取り組んで、総理大臣が働いてを5回繰り返していたが、やはり馬車馬の如く適度に皆さん働いて、ここに参集の方々は関連業であるので、皆で一致団結して協力して課題、問題、困難を皆で解決していく、そういう躍動の1年にしていきたいと思っている。皆さん一致団結して頑張っていきたい。本日、出席の皆さんの健勝および各企業様のますます繁栄を祈念して、一本で閉めたいと思う。唱和をお願いする」と述べ、一丁締めで、令和8年新年交礼会を閉会した。

# 令和7年度下期北海道地区印刷協議会 のご案内

北海道印刷工業組合は、令和7年度下期北海道地区印刷協議会を開催する。

**組** 合員へ事業のより詳細な紹介、濃密な情報の伝達等を目的に、北海道地区印刷協議会で、組合員と双方向の情報交流を行っている。

そのために、組織活性化、経営革新マーケティング、教育研修、サステナビリティ・CSR、青年部の5委員会活動を北海道地区印刷協議会において実施している。

組合員ならびに賛助会員の皆さんは、北海道地区印刷協議会において、いずれかの委員会に参加いただき、対面式で活発なディスカッションを行っていただき、企業経営の永続・発展のための情報を共有いただくこととしている。

組合に加入しているメリットは、組合の事業に積極的に参加し、利用することから生まれてくる。

## 記

1. 日 時 令和8年2月27日(金) 14:00~18:40
2. 会 場 札幌パークホテル（札幌市中央区南10条西3丁目）
3. スケジュール 14:00~15:00 全体会議
  - ①理事長あいさつ：北海道印刷工業組合 理事長 岸 昌洋
  - ②全印工連あいさつ：全日本印刷工業組合連合会 副会長 橋本唱一 氏
  - ③全印工連事業概況説明
  - ④官公需・民・民取引契約書（ひな型）説明：全日本印刷工業組合連合会 専務理事 高橋秀明 氏
  - ⑤冊子「SR調達と公民連携でつくる地域のミライ～選ばれる企業になるための実践ガイド」説明  
全日本印刷工業組合連合会 常務理事 江森克治 氏
  - ⑥全印工連令和8年度事業構想について：全日本印刷工業組合連合会 副会長 橋本唱一 氏
  - ⑦紙育実行委員会について：北海道印刷工業組合 理事 矢吹英俊
  - ⑧2026全日本印刷文化典沖縄大会ピーアール：沖縄県印刷工業組合 担当役員
- 15:10~16:10 分科会（委員会）
  - ①組織活性化委員会 ②経営革新マーケティング委員会 ③教育研修委員会
  - ④サステナビリティ・CSR委員会 ⑤青年部委員会
- 16:15~17:00 総括会議
  - ①分科会（委員会）協議内容発表
  - ②理事長総括
  - ③全印工連感想所見
- 17:10~18:40 情報交流会（懇親会）

北海道印刷工業組合

**メールマガジン配信登録受付中**

メールマガジンの配信希望は、北海道印刷工業組合の HP から申込受付を行っています。

[URL]

**<https://www.print.or.jp>**

# 「2026年最新！画像&映像生成AIのクリエイティブ現場活用術」を学ぶ

令和8年新春経営者研修会開催される

令和8年新春経営者研修会が、1月8日午後2時30分から、札幌市中央区の札幌グランドホテルで、講師にスタジオねこやなぎ代表の大須賀淳氏を迎え、「2026年最新！画像&映像生成AIのクリエイティブ現場活用術」をテーマに、約40人が出席して開催された。



大須賀 淳 氏

**研** 修会は、最初に、今、あらゆる分野で最大のトピックとなっている生成AIについて、クリエイティブ系業務の効率も劇的に加速している現状の紹介があり、2026年もさらに進化の加速と普及が予想される状況が説明された。

れた。

印刷会社がデザイン・DTPツールとして最も多く使用している「Photoshop」、「Illustrator」など、現場に不可欠なツールとの融合の進む「Adobe Firefly」を中心に、AIがもたらす新しい発想法と制作効率化の最前線について、実際に作業を展開しながら詳細な説明が行われた。

さらに画像生成や映像編集、テキストプロンプト設計の実践例を通して、AIとクリエイターが協働する次世代のワークフローを具体的に解説が行われ、創造性



を拡張するための最新トレンドと活用ノウハウが披露された。

また、Adobe Fireflyと付帯になっているAdobe Stockの商用利用についての使用方法の説明が行われ、Adobe Stock素材を用いてFireflyで生成した画像について知的財産権の保証が受けられることについても説明が行われた。

## 次期理事長候補者に 岸 昌洋 氏（現理事長）の推薦を決定

次期理事長推薦委員会開催される

**令** 和7年度次期理事長推薦委員会が、1月7日午後12時30分から、札幌市中央区の札幌グランドホテルで委員6人が出席して開催され、満場一致で現理事長の岸昌洋氏を次期理事長候補者として推薦することを決定した。

なお、今後の手続きとしては、5月開催予定の令和8年度通常総会において役員選挙を行い、その後、理事会において、推薦委員会の経過説明ならびに候補者を推薦し、理事長を選出することになる。



# 「page2026」のご案内

公益社団法人日本印刷技術協会は、「page2026」を、前回page2025のテーマ「協奏」、前々回page2024の「連携」からの流れを受け、「再びつなぐ」という意図で、「Re:Connect～再びつなぐ、印刷のチカラ」をテーマに、128社493小間が出展し開催する。

**今**年で39回目となる「page2026」は、カンファレンス・セミナーを2月5日～13日までオンライン配信で行い、基調講演を2月18日に展示会場内特設会場でリアル開催する。

展示会は2月18日から20日まで、池袋のサンシャインシティ文化会館で開催する。

page2026では新企画として、「紙以外印刷ゾーン」が設置される。これは多種多様な技術を活用し、Tシャツなどの布やアクリルスタンド、スマホケースなどといった紙以外への印刷を展開する企業、製品が集まるゾーンである。これまでのpageイベントでもこうした企業や製品をPRする企業の出展はあったが、今回はこれらを一堂に集めてゾーンとすることで、page2026のテーマのサブタイトルにある「印刷のチカラ」を体現する。

また、前回のpage2025で好評を得た、印刷現場の環境改善を目的にその課題を解決するさまざまな製品・サービスを持つ企業が出展する「工場ソリューションゾーン」は規模を拡大して展開する。

## ■カンファレンス・セミナー（24本）

日 時 令和8年2月5日(木)～2月13日(金) オンライン配信

## ■基調講演

日 時 令和8年2月18日(水) 13:00～14:30

会 場 サンシャインシティ文化会館（東京都豊島区東池袋3-1）  
4階展示ホールB 特設セミナー会場

テ ー マ AI時代の印刷ビジネス再考（完結編）

講 師 網野勝彦 氏（株式会社研文社 代表取締役社長／公益社団法人日本印刷技術協会 会長）

岡本幸憲 氏（株式会社グーフ 代表取締役）

本間 充 氏（株式会社マーケティングサイエンスラボ 代表取締役）

モデレーター 郡司秀明 氏（公益社団法人日本印刷技術協会 専務理事）

## ■展示会

日 時 令和8年2月18日(水)～20日(金) 10:00～17:00

会 場 サンシャインシティ文化会館（東京都豊島区東池袋3-1）

入 場 料 1,000円（税込み、Webによる事前登録で無料）

詳細は、右記ホームページを参照ください。 <https://page.jagat.or.jp/index.html>



## 業 界 の う ご き

### ▶NTSプリント工房(株)が移転

NTSプリント工房株式会社（石子雅康社長）は、このたび、移転した。

【新住所】〒060-0063 札幌市中央区南3条西1丁目8番10号 CONNECT SAPPORO 11F

電話011-330-0000 FAX011-330-7878（電話・FAXは従来通り）

### ▶東洋インキ(株)北海道営業部が北海道支店へ組織変更

東洋インキ株式会社東日本営業本部北海道営業部（森田稔部長／札幌市西区西町南11丁目1番36号）は、このたび、営業本部北海道支店（森田稔支店長）に組織変更した。

page2026

2026.2.18wed » 2.20fri  
サンシャインシティコンベンションセンター

再びつなぐ、印刷のチカラ。

北海道の難読地名

安足間

難読レベル

★★★★☆



石北本線を行くラッセル車『安足間駅』（上川郡愛別町愛山）



#### 表紙の解説

##### 安足間（あんたろま）

アイヌ語のアンタラオマッ／アタオロオマッ「淵 (?)・ある・もの」もしくは「片側・高岸・ある・もの」の意。

参考資料：北海道「アイヌ語地名リスト」

[https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ass/new\\_timeilist.html](https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ass/new_timeilist.html)

#### 難読レベル

- ★★★★☆..... 道外の方でも読める
- ★★★★☆..... 道民のほとんどが読める
- ★★★★☆..... 道民の半分くらいが読める
- ★★★★☆..... 道民でもほとんど読めない
- ★★★★☆..... 地域住民以外は読めない

※難読レベルは北海道印刷工業組合独自の基準です。